



Private Line Automatic Ringdown

- [Private Line Automatic Ringdown の概要 \(1 ページ\)](#)
- [SCCP 電話での Private Line Automatic Ringdown の設定タスク フロー \(1 ページ\)](#)
- [SIP 電話での Private Line Automatic Ringdown の設定タスク フロー \(4 ページ\)](#)
- [Private Line Automatic Ringdown のトラブルシューティング \(6 ページ\)](#)

Private Line Automatic Ringdown の概要

Private Line Automatic Ringdown (PLAR) 機能は、ユーザがオフフック状態（または [新規コール (NewCall)] ソフトキーまたは回線キーが押された場合）になると、すぐに電話機が事前に設定された番号にダイヤルするように電話機を設定します。ユーザは PLAR を設定された電話回線で他の番号をダイヤルすることはできません。

PLAR は、割り込み、C 割り込み、ワンボタン割り込み機能のような機能にも対応しています。PLAR とそのような機能を使用する場合、機能のドキュメンテーションで説明されているように機能を設定し、PLAR の接続先を設定する必要があります。これは、PLAR 専用で使用される電話番号です。

SCCP 電話での Private Line Automatic Ringdown の設定タスク フロー

SCCP 電話で Private Line Automatic Ringdown (PLAR) を設定するには、次の作業を実行します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	パーティションの作成 (2 ページ)	PLAR の接続先のパーティションを作成します。このパーティションに割り当てられる唯一の電話番号は、PLAR の接続先です。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 2	コーリング サーチ スペースへのパーティションの割り当て (2 ページ)	このパーティションを一意的 CSS、および PLAR の接続先デバイスを含む CSS に割り当てます。
ステップ 3	Private Line Automatic Ringdown 接続先へのパーティションの割り当て (3 ページ)	PLAR の接続先電話番号に NULL パーティションと CSS を割り当てます。
ステップ 4	電話機での Private Line Automatic Ringdown のトランスレーションパターンの設定 (4 ページ)	NULL のトランスレーションパターンを作成し、それを PLAR の接続先電話番号に割り当てます。

パーティションの作成

Private Line Automatic Ringdown (PLAR) の接続先の新しいパーティションを作成します。この機能を有効にするため、PLAR に設定し、このパーティションに割り当てられるのは、ヌルのトランスレーションパターンのみです。

手順

-
- ステップ 1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[コールルーティング (Call Routing)] > [コントロールのクラス (Class of Control)] > [パーティション (Partition)]。
- ステップ 2 [新規追加] をクリックします。
- ステップ 3 [名前 (Name)] フィールドに、パーティション名と説明をカンマで区切って入力します。
- ステップ 4 [保存 (Save)] をクリックします。
-

コーリング サーチ スペースへのパーティションの割り当て

SCCP 電話の Private Line Automatic Ringdown (PLAR) については、次の 2 つのコーリング サーチ スペース (CSS) を設定する必要があります。

- 最初の CSS には、ヌルのトランスレーションパターンの新しいパーティションと接続先の電話にルーティングするパーティションを含める必要があります。
- 2 番目の CSS には、ヌルのトランスレーションパターンの新しいパーティションのみ含める必要があります。

始める前に

[パーティションの作成 \(2 ページ\)](#)

手順

- ステップ 1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[コールルーティング (Call Routing)] > [コントロールのクラス (Class of Control)] > [コールサーチスペース (Calling Search Space)]。
- ステップ 2 [検索 (Find)] をクリックして、PLAR 接続先デバイスのコーリングサーチスペースを選択します。
- ステップ 3 矢印を使用して、ヌルのトランスレーションパターン向けに作成された新しいパーティションと接続先デバイスにルーティングするパーティションの両方を [選択されたパーティション (Selected Partitions)] リストボックスに移動します。
- ステップ 4 [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 5 [新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 6 コーリングサーチスペースの名前と説明を入力します。
- ステップ 7 矢印を使用して、新しいパーティションを [選択されたパーティション (Selected Partitions)] リストボックスに移動します。
- ステップ 8 [保存 (Save)] をクリックします。

Private Line Automatic Ringdown 接続先へのパーティションの割り当て

SCCP 電話機で Private Line Automatic Ringdown (PLAR) を設定するには、ヌルのパーティションを PLAR 接続先として使用する電話番号に割り当てます。



- (注) PLAR 接続先の電話番号にはそれぞれ一意のパーティションが必要です。ヌルのパーティションには PLAR 接続先として作成した電話番号以外の電話番号を追加しないでください。

始める前に

[コーリングサーチスペースへのパーティションの割り当て \(2 ページ\)](#)

手順

- ステップ 1 Cisco Unified CM の管理で、[コールルーティング (Call Routing)] > [電話番号 (Directory Number)] を選択します。
- ステップ 2 [検索 (Find)] をクリックして、PLAR 接続先として使用する電話番号を選択します。
- ステップ 3 [ルートパーティション (Route Partition)] フィールドで、PLAR 接続先用に作成したパーティションを選択します。
- ステップ 4 [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)] ドロップダウンリストで、ヌルのパーティションおよび宛先デバイスの両方を含む CSS を選択します。

ステップ5 [保存 (Save)]をクリックします。

電話機での Private Line Automatic Ringdown のトランスレーションパターンの設定

電話機で Private Line Automatic Ringdown (PLAR) を設定するには、ヌルのトランスレーションパターンを設定し、そのトランスレーションパターンに PLAR 接続先番号を割り当てます。

始める前に

[Private Line Automatic Ringdown 接続先へのパーティションの割り当て \(3 ページ\)](#)

手順

- ステップ1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)]で、[コールルーティング (Call Routing)] > [トランスレーションパターン (Translation Pattern)]を選択します。
 - ステップ2 [新規追加 (Add New)]をクリックして、新しいトランスレーションパターンを作成します。
 - ステップ3 [トランスレーションパターン (Translation Pattern)]フィールドを空にしておきます。
 - ステップ4 [パーティション (Partition)]ド롭ダウンリストから、ヌルのトランスレーションパターン用に作成した新しいパーティションを選択します。
 - ステップ5 [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]ド롭ダウンリストから、新しいパーティションと PLAR 接続先デバイスのパーティションの両方を含むコーリングサーチスペースを選択します。
 - ステップ6 [着信側トランスフォーメーションマスク (Called Party Transformation Mask)]フィールドで、PLAR 接続先電話番号を入力します。
 - ステップ7 [保存 (Save)]をクリックします。
-

SIP 電話での Private Line Automatic Ringdown の設定タスクフロー

SIP 電話の Private Line Automatic Ringdown (PLAR) を設定するには、これらのタスクを実行します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Private Line Automatic Ringdown の SIP ダイアル ルールの作成 (5 ページ)	PLAR 向けの SIP ダイアルルールを作成します。
ステップ 2	SIP 電話への Private Line Automatic Ringdown ダイアル ルールの割り当て (6 ページ)	電話機に PLAR のダイアル ルールを割り当てます。

Private Line Automatic Ringdown の SIP ダイアル ルールの作成

SIP 電話の Private Line Automatic Ringdown (PLAR) を設定するには、PLAR の接続先番号の SIP ダイアル ルールを設定する必要があります。

始める前に

[パーティションの作成 \(2 ページ\)](#)

[コーリング サーチ スペースへのパーティションの割り当て \(2 ページ\)](#)

[Private Line Automatic Ringdown 接続先へのパーティションの割り当て \(3 ページ\)](#)

[電話機での Private Line Automatic Ringdown のトランスレーション パターンの設定 \(4 ページ\)](#)

手順

-
- ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] で、[コール ルーティング (Call Routing)] > [コントロールのクラス (Class of Control)] > [SIP ダイアル ルール (SIP Dial Rules)] を選択します。
 - ステップ 2 [新規追加] をクリックします。
 - ステップ 3 [ダイヤル パターン (Dial Pattern)] ドロップダウン リストから、[7940_7960_その他 (7940_7960_OTHER)] を選択します。
 - ステップ 4 [次へ (Next)] をクリックします。
 - ステップ 5 ダイアル ルールの名前と説明を入力します。
 - ステップ 6 [次へ (Next)] をクリックします。
 - ステップ 7 [パターン (Pattern)] フィールドに、PLAR の接続先番号に一致するパターンを入力して、[PLAR を追加 (Add PLAR)] をクリックします。
 - ステップ 8 [保存 (Save)] をクリックします。
-

SIP 電話への Private Line Automatic Ringdown ダイアル ルールの割り当て

PLAR 対応 SIP ダイアルルールを電話機に割り当てることにより、SIP 電話機で Private Line Automatic Ringdown (PLAR) を設定できます。

始める前に

[Private Line Automatic Ringdown の SIP ダイアル ルールの作成 \(5 ページ\)](#)

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] で、[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] を選択します。
- ステップ 2** [検索 (Find)] をクリックし、PLAR を設定する電話機を選択します。
- ステップ 3** [SIP ダイアルルール (SIP Dial Rules)] ドロップダウンリストから、PLAR 用に作成したダイアルルールを選択します。
- ステップ 4** [保存 (Save)] をクリックします。
-

Private Line Automatic Ringdown のトラブルシューティング

SCCP 電話での Private Line Automatic Ringdown トラブルシューティング

症状	解決方法
電話がオフフックになり、ユーザにはファストビジー (リオーダー) 音が聞こえる。	PLAR のトランスレーションパターンに割り当てられている CSS に PLAR 接続先のパーティションが含まれていることを確認します。
電話がオフフックになり、ダイヤルトーンが聞こえる。	電話に割り当てられた CSS にヌルの PLAR トランスレーションパターンのパーティションが含まれていることを確認します。

SIP 電話での Private Line Automatic Ringdown トラブルシューティング

症状	解決方法
電話がオフフックになり、ユーザにはファストビジー（リオーダー）音が聞こえる。	SIP 電話の CSS が PLAR 接続先に到達できることを確認します。
電話がオフフックになり、ダイヤル トーンが聞こえる。	SIP ダイヤル ルールが電話で作成され、その電話に割り当てられていることを確認します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。